

補足情報

液晶ディスプレイ -19

(VL-195SEL/VL-195SSL)

電子カルテ用液晶ディスプレイ -19

(VL-195SML)

目次

はじめに	3
1 本製品の特長	5
2 各部の名称と機能	7
3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール	11
初めて電源を入れるとき	11
最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする	11
4 液晶ディスプレイのセットアップ	12
AUTO セットアップアクション機能	12
AUTO セットアップ調整機能について	12
エコ機能	13
画質を選ぶ	15
細かい設定を行う	17
入力切り換えについて（VL-195SSL の場合）	20
5 省電力機能	21
6 PC- ディスプレイ電源連動機能（VL-195SEL/VL-195SML の場合）	23
.....	
7 トラブルシューティング	24
画面がおかしい	24
画面調整ができない	28
音が聞こえない／変な音が聞こえる（VL-195SSL の場合）	29
8 日常のお手入れ	30
清掃する	30
9 リサイクル	31
10 付録	32
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法	32
複数台のコンピューターを接続する（VL-195SSL の場合）	35
11 仕様	36
本体仕様	36
標準表示仕様	37
コネクタ仕様	38
外形図	39

はじめに



このたびは、弊社の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。
このマニュアルをよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

■ マニュアルについて




- ・ディスプレイの設置、接続までは『取扱説明書』をご覧ください。
『取扱説明書』の「使用上のご注意」も必ずお読みください。
- ・画質の設定などの技術情報は、このマニュアルをご覧ください。

■ 警告表示について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使っています。



	△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⊘で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
 重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
 POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を、次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
VL-195SEL/VL-195SSL/VL-195SML	本製品

■ 商標および著作権について

VESA、DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2013

1 本製品の特長

1 PC- ディスプレイ電源連動機能

- ・ 添付の PS/2 ケーブルを接続することにより、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができます。
- ・ コンピューター本体を床上など離れた場所に置いていても、机上のディスプレイの電源ボタンを押すだけでコンピューター本体の電源がオン／オフするので、楽な体勢で電源を入れることができます。机上をより広く使え、快適なオフィスワークを実現できます。
- ・ コールセンター業務に適しているディスプレイアームまたはモニターマウントキット使用時のように、ディスプレイの背面にコンピューター本体が設置されていても、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができます。

2 大画面・高解像度・省スペース

1280 × 1024 ドットの解像度で最適に表示されます。

3 多様な医療用画像に対応（VL-195SML の場合）

- ・ D モード
レントゲン画像などの医療用画像の表示に最適な DICOM 階調特性に対応したモード
- ・ カスタム 1 モード
内視鏡画像などの医療用画像の表示に最適な表示モード
- ・ カスタム 2 モード
エコー画像（静止画）などの医療用画像の表示に最適なモード

重要

- ▶ D モードとは、DICOM 規格の階調特性をシミュレートしたものであり、DICOM part 14 に準拠した表示を保証するものではありません。

POINT

- ▶ DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine) とは、米国放射線学会 (American College of Radiology) と北米電子機器工業会 (National Electrical Manufacturers Association) が開発した医用画像と通信の標準規格です。

4 IPS で高精彩・高視野角

スタイリッシュな狭額縁デザインを採用したため、ワークスペースを広く使えます。

5 DDC/CI 対応

本製品は、VESA の DDC/CI (Display Data Channel Command Interface) 規格に対応しています。コンピューター本体が DDC/CI 規格に対応している場合は、DDC/CI 機能を使って画面を設定できます。

6 sRGB 対応

ディスプレイとプリンター／スキャナー／デジタルカメラなどの機器との色再現性を合わせる国際規格である、sRGB での表示が可能です。

POINT

- ▶ sRGB とは、ディスプレイ／スキャナー／デジタルカメラなど周辺機器どうしの色再現性や、プリンターで出力するときの色を合わせることを目的にした、色の表現範囲を規定するための国際規格です。

sRGB の設定については、「細かい設定を行う」(→ P.17)をご覧ください。

7 親切的自動調整機能 (アナログ入力のみ)

初めて入力された解像度 (モード) でも、本製品が検知して自動的に調整しますので、解像度 (モード) を変更しても、すぐに最適な画面でご使用になれます。

8 グリーン製品

省エネルギー、リサイクルしやすい材料の採用など、環境にやさしい設計です。

このマークは富士通株式会社のグリーン製品の評価基準に適合した製品に表示しています。



9 多彩な設置方法

本製品は VESA の FDMI 規格に対応しています。FDMI 規格に準拠したアームや壁掛けキットに取り付けることができます。

POINT

- ▶ 「VESA FDMI」とは「VESA Flat Display Mounting Interface」の略で、液晶ディスプレイとアーム、または壁掛けキットを取り付けるインターフェースです。

インターフェースとしては 75mm × 75mm と 100mm × 100mm の 2 種類があります。

本製品では 100mm × 100mm に対応しています。

10 LED エコモード

周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、周囲の明るさに加え表示する画像に応じて自動的に画面の明るさを調整する機能、およびワンタッチで明るさを最小にする機能の 3 モードを搭載しています。

本機能を使用すると、最大約 35% の消費電力を削減できます。

それぞれの機能の省電力効果は「★」の数で表現し、使いやすくなっています。

11 スピーカー内蔵 (VL-195SSL の場合)

ステレオスピーカーを内蔵し、立体感のあるサウンドでマルチメディア環境を実現します。

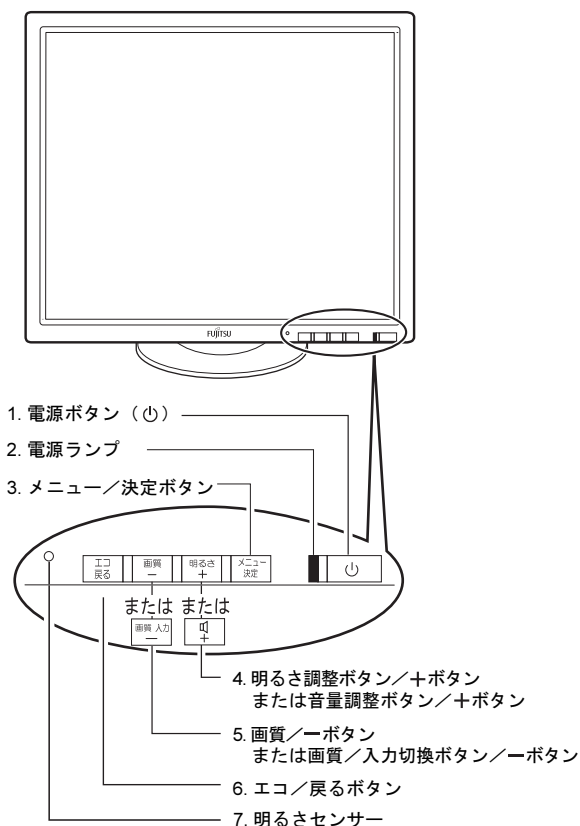
12 2 系統入力 (VL-195SSL の場合)

アナログとデジタルの 2 入力が可能です。

13 多様な医療用画像に対応 (VL-195SML の場合)

2 各部の名称と機能

■ 前面



1 電源ボタン (⏻)

電源を入れたり切ったりするときに押します。

2 電源ランプ

電源が入ると緑色に点灯、省電力時はオレンジ色に点灯します。

3 メニュー／決定ボタン

メニュー画面を表示、調整項目を決定、設定値を保存するときに押します。

4 明るさ調整ボタン／＋ボタン (VL-195SEL/VL-195SML の場合)

明るさを調整するときに押します。メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

音量調整ボタン／＋ボタン（VL-195SSL の場合）

音量を調整するときに押します。メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

5 画質／－ボタン（VL-195SEL/VL-195SML の場合）

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときに押します。メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

画質／入力切換ボタン／－ボタン（VL-195SSL の場合）

映像の内容に合わせた画質モードを選ぶときや、入力切り換えをするときに押します。メニュー画面が表示されているときは、各項目の選択や設定値の調整をします。

6 エコ／戻るボタン

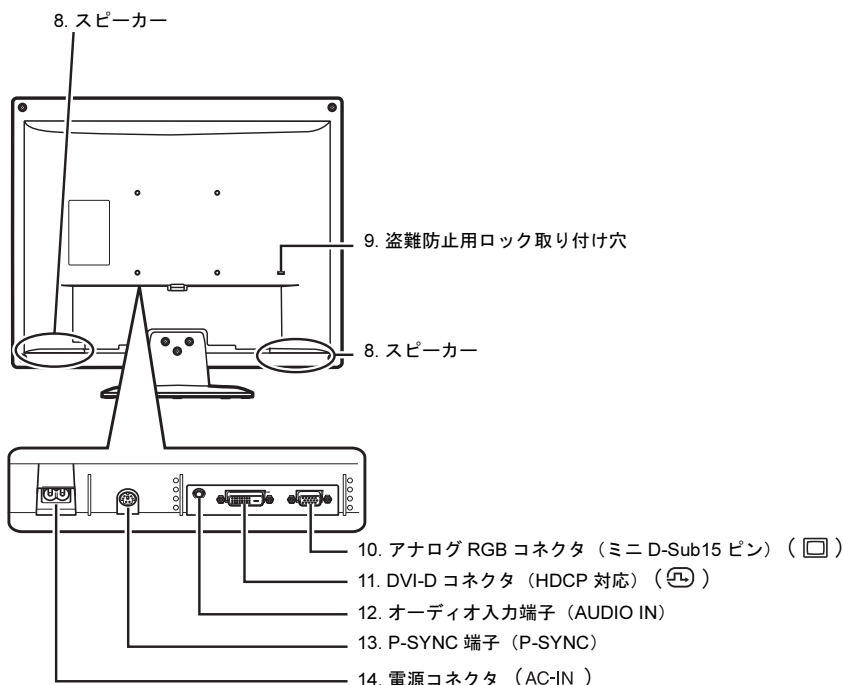
「エコ機能」（→ P.13）の「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」を切り換えます。

また、メニュー画面で調整中の値を取り消したり、前のメニューに戻ったりするときに使用します。

7 明るさセンサー

「エコ機能」（→ P.13）を「オート」「インテリジェントオート」に設定したときに、周囲の明るさを検知して、画面の明るさを最適に調整します。

■ 背面



8 スピーカー (VL-195SSL の場合)

音声を出力します。

9 盗難防止用ロック取り付け穴

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

10 アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン) ()

コンピューター本体とアナログ信号ケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

11 DVI-D コネクタ (HDCP 対応) () (VL-195SSL の場合)

コンピューター本体と DVI 信号ケーブルで接続します。コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続します。

12 オーディオ入力端子 (AUDIO IN) (VL-195SSL の場合)

コンピューター本体とオーディオケーブルで接続します。

13 P-SYNC 端子 (P-SYNC) (VL-195SEL/VL-195SML の場合)

PC-ディスプレイ電源連動機能を使用する場合に使用します。
コンピューター本体およびキーボードを添付の PS/2 ケーブルで接続します。

14 電源コネクタ（AC-IN）

電源ケーブルを接続します。

POINT

- ▶ HDCPとは"High-bandwidth Digital Content Protection"の略称で、DVIやHDMIを経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。

HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。本製品は、HDCP技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを表示することができます。

3 ディスプレイドライバー（INF ファイル）のインストール

初めて電源を入れるとき

コンピューター本体に接続後、最初の電源投入時に、本製品のドライバー（INF ファイル）のインストールを要求されることがあります。この場合、画面の指示に従って一度「プラグアンドプレイモニタ」として設定を完了させ、その後ドライバーのダウンロード／インストールを行ってください。

POINT

- ▶ お使いの OS の INF ファイルがない場合は、そのまま「プラグアンドプレイモニタ」としてご使用ください。

最新の INF ファイルをダウンロードしてインストールする

最新のドライバー（INF ファイル）は、富士通製品情報ページ（http://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）よりダウンロードできます。

「ディスプレイ INF ファイル / タッチパネルドライバ」からお使いの型名を検索してダウンロードし、インストールしてください。

4 液晶ディスプレイのセットアップ

AUTO セットアップアクション機能

本製品は、次の場合、最適な表示を得られるように画面位置、水平サイズなどを自動調整します。

- ・初めてディスプレイを本体に接続したとき
- ・今までに入力されたことのない解像度（モード）が設定されたとき

重要

- ▶ AUTO セットアップアクションは、本製品の対応する解像度（モード）でのみ動作します（→ P.37）。
- ▶ 一度調整された解像度（モード）は、設定値が本製品に記憶されるので、記憶後は AUTO セットアップアクションは動作しません。
- ▶ AUTO セットアップアクションは、画面全体が暗い色に設定されている場合、動作しないことがあります。その場合は、コンピューター本体で画面の背景を白色に設定してから、AUTO ボタンを押して自動調整（→ P.18）を行ってください。

AUTO セットアップ調整機能について

本製品では解像度（モード）に応じて最適な表示を行います。ボタン操作によって自動調整（AUTO セットアップ）も行うことができます。

メニュー / 決定ボタンを押して、「自動調整」を選択します。

コンピューターの入力信号に合った表示調整（位置、クロック、フォーカス）を行います。文字がにじんだり、画面がずれている場合に行います。

エコ機能

本製品には、画面の明るさを抑え消費電力を低減する「LED エコモード」機能が搭載されています。

■LED エコモード

LED エコモードとは、画面の明るさを抑え、消費電力を削減する機能です。

LED エコモードには「オフ」「オート」「インテリジェントオート」「オン」の4種類があり、通常時の消費電力を最大で約35%削減することができます。使用環境に応じてモードを選択することで、最適な省電力効果が得られます。

エコ／戻るボタンを1回押すと、現在のLEDエコモードの状態が表示されます。続けて押すと、次のようにモードが切り換わります。



モード名	機能	省電力効果
オフ	メニュー画面の「明るさ」で調整した明るさそのまま画面を表示します。	—
オート	明るさセンサーで周囲の明るさを検知し、周囲に合わせて画面の明るさを下げることにより消費電力を低減します。	★（低）
インテリジェントオート	明るさセンサーに加え、画面内で白く表示されている面積に応じて画面の明るさを下げ、消費電力を低減します。	★★（中）
オン	画面の明るさを自動的に最小にします。消費電力が最も少なくなります。	★★★★（高）

※重要

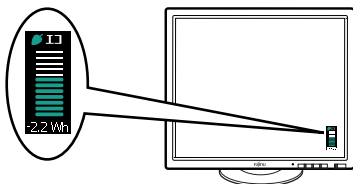
- ▶ ご購入時はLEDエコモードが「オフ」に設定されています。
- ▶ LEDエコモードが「オン」の状態では「明るさ」を調整すると、LEDエコモードは、「オフ」に設定されます。
- ▶ 明るさセンサー（→ P.8）の前にはものを置かないでください。
LEDエコモードを「オート」「インテリジェントオート」に設定した場合、ものを置くなどで明るさセンサーを覆い隠してしまうと、周囲の明るさを正しく検知できずに画面が必要以上に暗くなってしまいます。

■エコゲージ

現在の電力削減量をリアルタイムに数字とバーで表示します。

電源投入時や節電状態からの復帰時、入力信号および電力削減量に変化したときに一定時間表示され、自動的に消えます。

エコゲージは、メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコゲージ」（→ P.18）で表示、非表示を切り換えることができます。



POINT

- ▶エコゲージで表示している数値およびバーは、LED エコモードやエコブートを使わずに明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

■エコブート

エコブートとは、OS の起動時など、入力信号が本製品の推奨解像度より小さい解像度（1024 × 768 など）の場合に、輝度を落として電力を削減する機能です。

エコブートはメニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「エコブート」（→ P.18）でオン、オフを切り換えることができます。

■累積電力削減量表示

ご使用開始からの電力削減量を表示することができます。

累積電力削減量（kWh）とその累積電力削減量を CO₂ 換算した値（kg）の 2 種類を表示します。累積電力削減量とは LED エコモードやエコブートを使わずに、明るさを最大にして使用している状態と比較した場合の値であり、電力削減量の目安を示すものです。

メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示し、「エコ設定」－「累積電力削減量表示」（→ P.18）で表示できます。

「累積電力削減量表示」で表示している累積電力削減量と累積 CO₂ 削減量は、「エコ設定」－「累積電力削減量リセット」（→ P.18）でリセットできます。

POINT

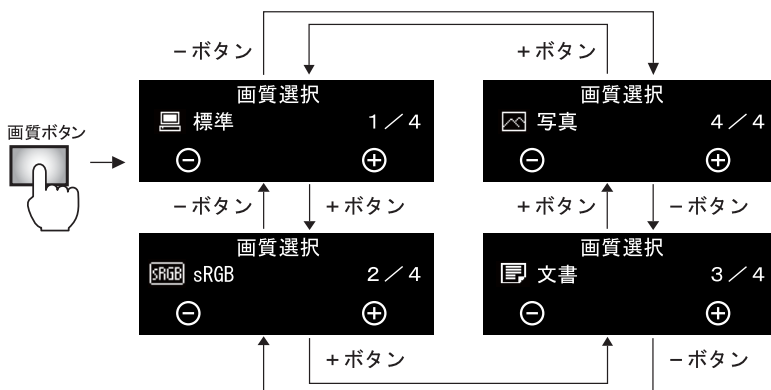
- ▶「累積電力削減量」には、本製品が省電力状態に入っている間（→ P.21）に削減された電力量は含まれておりません。

画質を選ぶ

■ VL-195SEL/VL-195SML の場合

画質／－ボタン（→ P.8）を使って、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。それぞれの画質モードには最適な LED エコモードがあらかじめセットされています。

画質ボタンを押すと「画質選択」画面が表示されます。続けて－ボタン、＋ボタンを押すと、画質を選択することができます。



ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
sRGB	コンピューターの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
文書	メールや文書の作成など、背景に白が多い表示のときに最適なモードです。明るさが抑えられ、文字が見やすくなります。
写真	デジタルカメラの画像や Web 閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

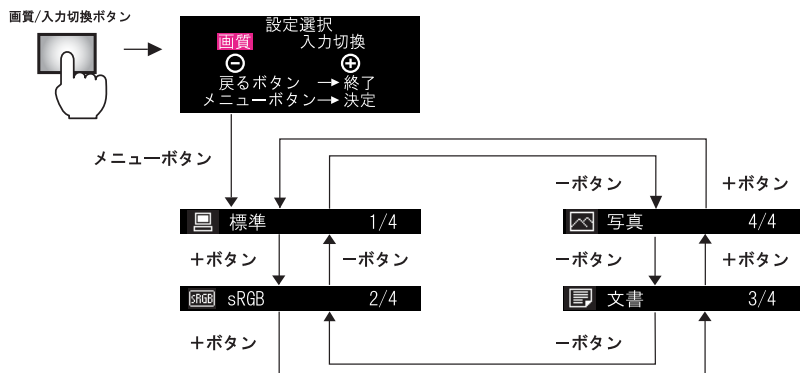
POINT

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、画質／－ボタンは無効です。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／－ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」（→ P.17）をご覧ください。
- ▶ 細かい画質の調整は、画質選択で「標準」を選択後、メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示させて行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」（→ P.18）をご覧ください。

■ VL-195SSL の場合

画質／入力切換ボタン／－ボタン（→ P.8）を押すと、サブメニューから映像の内容に合わせた画質モードを選ぶことができます。

画質／入力切換ボタン／－ボタンを押すと「設定選択」画面が表示されます。「設定選択」画面で「画質」を選ぶと、「画質選択」画面が表示されます。続けて－／＋ボタンを押すと、画質を選択することができます。



ボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された内容で画面が表示されます。

モード名称	モードの用途など
標準	標準的な設定のモードです。このモードのみコントラスト、カラー、黒レベルの調整が可能です。
sRGB	コンピューターの機種など機器の違いによらず、意図したとおりの色を再現するための国際規格「sRGB」に設定します。
文書	メールや文書の作成など、背景に白が多い表示のときに最適なモードです。明るさが抑えられ、文字が見やすくなります。
写真	デジタルカメラの画像や Web 閲覧などのグラフィック表示を鮮やかに見せるモードです。鮮明に色を表現します。

POINT

- ▶ メニュー画面などが表示されている場合、設定選択画面は表示できません。メニュー画面などの表示が消えた後に、画質／入力切換ボタン／－ボタンを押してください。
メニュー画面については、「細かい設定を行う」（→ P.17）をご覧ください。
- ▶ 細かい画質の調整は画質選択で「標準」を選択後、メニュー／決定ボタン（→ P.7）でメニューを表示させて行ってください。
画質の調整項目については、「調整項目の内容」（→ P.18）をご覧ください。

細かい設定を行う

画面下部にあるメニュー／決定ボタン（→ P.7）を押して表示されるメニュー画面の中から、個別に選択して調整することができます。

■ メニュー画面の基本的な操作

□ ボタンの基本機能

エコ／戻るボタン

- ・ メニュー画面の消去
- ・ 調整項目の取り消し
- ・ 設定値の取り消し
- ・ LED エコモードの切り換え

画質／一ボタン

- (VL-195SEL/VL-195SML の場合)
- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
 - ・ 設定値の調整（メニュー画面表示時）
 - ・ 画質モード選択メニューの表示

画質／入力切替ボタン／一ボタン

(VL-195SSL の場合)

- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
- ・ 設定値の調整（メニュー画面表示時）
- ・ 設定選択メニューの表示

明るさ調整ボタン／＋ボタン

- (VL-195SEL/VL-195SML の場合)
- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
 - ・ 設定値の設定（メニュー画面表示時）
 - ・ 明るさ調整メニューまたは音量調整メニューの表示

音量調整ボタン／＋ボタン

(VL-195SSL の場合)

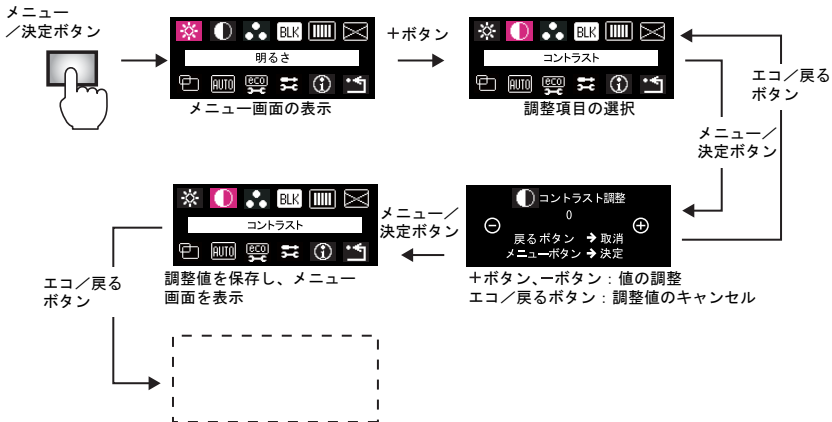
- ・ 調整項目の選択（メニュー画面表示時）
- ・ 設定値の設定（メニュー画面表示時）
- ・ 明るさ調整メニューまたは音量調整メニューの表示

メニュー／決定ボタン

- ・ メニュー画面の表示
- ・ 調整項目の決定
- ・ 設定値の保存
- ・ ボタンロックの解除

□ 操作手順

例）コントラストを調整する場合






メニュー画面が表示されている状態でボタン操作を行わなかった場合、設定は保存され、表示は自動的に消えます。次に電源を入れたときにも、保存された設定内容で画面が表示されます。

※重要

- ▶ 解像度を変更しても、保存された設定内容で画面が表示されます。
- ▶ 水平サイズ、フォーカスまたは画面位置の調整項目は、解像度ごとに設定値を保存します。

■ 調整項目の内容

アイコン	名 称	機 能
	明るさ	画面全体の明るさを調整します。
	コントラスト	画面全体の濃淡の強さ（コントラスト）を調整します ^{注1} 。
	カラー調整	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤／緑／青の色合いを個別に設定できます ^{注1} 。
	黒レベル	黒色のレベルを任意に設定できます ^{注1} 。
	水平サイズ	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
	フォーカス	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	画面位置	表示位置を上下左右に調整します。
	自動調整	画面位置の自動調整をします。自動調整する場合は、コンピューター本体の機能で画面の背景を白色に変更してから実行してください。 「AUTO セットアップアクション機能」（→ P.12）
	エコ設定	消費電力の削減に関連した機能の設定をします。
	エコゲージ	「エコゲージ」（→ P.14）の表示、非表示を切り換えます。
	エコブート	「エコブート」（→ P.14）のオン、オフを切り換えます。
	累積電力削減量表示	累積の電力削減量（kWh）と累積の電力削減量を CO2 換算した値が表示されます。
	累積電力削減量リセット	累積電力削減量および累積 CO2 削減量の値をクリアし、ゼロにします。
	その他	その他の設定をします。
	ロゴ	起動時のロゴを表示するかしないかを設定します。
	DDC/CI	VESA DDC/CI ^{注2} のオン、オフを切り換えます ^{注3} 。
	ボタンロック	VL-195SEL/VL-195SML の場合は、メニュー／決定ボタン、明るさ調整ボタン／＋ボタン、画質／－ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 VL-195SSL の場合は、メニュー／決定ボタン、音量調整ボタン／＋ボタン、画質／入力切替ボタン／－ボタン、エコ／戻るボタン、電源ボタンを無効にすることができます。 ボタンロック中にこれらのボタンを押すと、画面に「ボタンがロックされています」と表示されます。 ロックを解除するには、メニュー／決定ボタンを 3 秒以上（メインメニューが表示されるまで）押し続けてください。

アイコン	名 称	機 能
	ミュート (VL-195SSL の場合)	スピーカー出力のオン、オフを切り換えます。オン設定時、音量調整を行うことでもオフになります。
	情報表示	現在設定されている解像度と周波数が表示されます。またアイコンで DDC/CI、画質モード、エコブート、エコゲー ジ、LED エコモード、ロゴ表示設定の状態を確認できます。
	リセット ^{注4}	<ul style="list-style-type: none"> ・ オール すべての項目をご購入時の設定に戻します。 ・ カラー 色に関する設定のみを、ご購入時の設定に戻します。

注1：画質モード「標準」でのみ調整可能となります。


注2：本製品は、VESA（Video Electronics Standards Association）の DDC/CI（Display Data Channel Command Interface）規格に対応しています。

注3：画質モード「標準」「sRGB」でのみ設定可能となります。



注4：リセット（オール／カラー）はどの画質モードで実行しても、すべての画質モードの設定値をご購入時の設定値に戻します。

■ 音量調整（VL-195SSL の場合）

スピーカーの音量は、メニュー画面を表示せずに、+ボタンを押してから、－／+ボタンで直接調整できます。

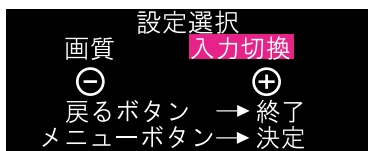
アイコン	名称	機能	アナログ	デジタル
	音量	本製品のスピーカーの音量を調整します。 +ボタンを押すと音量が大きくなり、 －ボタンを押すと音量が小さくなります。 ミュートがオンのときに音量を調整すると、 ミュートは解除され、スピーカーから音が出る状態になります。	○	○

入力切り換えについて（VL-195SSL の場合）

本製品には2つの入力コネクタ（アナログディスプレイコネクタ：「アナログ入力」、および DVI コネクタ：「デジタル入力」）があります。

初めてご使用になる場合は、入力を自動で検出して表示しますが、それ以降は次の手順で入力を切り換えてください。

- 1 画質／入力切換ボタン／ーボタンを押し、入力切換を選択して切り換えます。



画質／入力切換ボタン／ーボタンを押し、入力切換を選択すると、現在選択されている入力が「アナログ入力」の場合は「デジタル入力に切り換えますか?」、「デジタル入力」の場合は「アナログ入力に切り換えますか?」とメッセージが画面に表示されます。

POINT

- ▶ 画質／入力切換ボタン／ーボタンで切り換えた入力コネクタへの入力がないと、「節電に入ります」と画面に表示されます。その後、本製品は省電力状態になります。このときは、画質／入力切換ボタン／ーボタンで入力を選び直してください。

5 省電力機能

本製品はコンピューターの省電力機能に対応しています。この機能は、マウスおよびキーボードが一定時間操作されないと、画像の表示を中断し、電力の消費を抑えます。

省電力状態では、画面の表示が中断し、本製品の電源ランプはオレンジ色に点灯します。省電力状態から元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押すかマウスを動かします。

本製品は、コンピューター本体の制御に応じて、次の表に示すいずれかの状態に移行します。移行時には画面に「節電に入ります」というメッセージが表示されます。省電力機能については、コンピューター本体のマニュアルをご覧ください。

コンピューター 本体の状態	本製品の動作					本製品の消費電力	
	画面表示	本製品の電源供給元	電源ボタン	電源ランプ	LEDエコモード	VL-195SEL/ VL-195SML	VL-195SSL
通常状態	表示あり	コンセント、またはコンピューター本体のアウトレット	オン	緑	オフ	最大時：18W ／ 34VA 出荷時 ^{注1} ： 15W（出荷輝度設定時）	最大時：21W ／ 39VA （オーディオ動作時） 出荷時 ^{注3} ： 17W（出荷輝度設定時）
					オン	LEDエコモードオン時：11W	LEDエコモードオン時：12W
映像出力オフ ^{注4}	表示なし	コンセント、またはコンピューター本体のアウトレット	オン	オレンジ	オフ	省電力動作時：0.3W	省電力動作時：0.3W
スリープ／スタンバイ、または休止状態	表示なし	コンセント	オン	オレンジ	オン／オフ	省電力動作時：0.3W	省電力動作時：0.3W
スリープ／スタンバイ、または休止状態	表示なし	コンピューター本体のアウトレット	オン	消灯	オン／オフ	0.2W	0.3W
—	表示なし	コンセント	オフ	消灯	—	0.2W ^{注5}	0.3W ^{注5}

注1：ご購入時の状態で、明るさを特に調整しない状態での消費電力です。

注2: 次のように、コンピューターの電源がオンで画面表示を停止した状態です。

- ・ 電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・ リモートで省電力状態から復帰（レジューム）した状態になっている
- ・ 「ディスプレイの電源を切る」というソフトウェアが実行されているなど

注3: ご購入時の状態で、明るさを特に調整しないでかつスピーカーを使用しない状態での消費電力です。

注4: コンピューター本体の省電力機能により画面の表示が中断されてから、スリープ／スタンバイ、または休止状態に移行する前の状態です。

注5: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体のアウトレットから抜くことで0にすることができます。

■ コンピューター本体のアウトレットからの電力供給について

コンピューター本体でスリープ／スタンバイ、または休止状態が設定されている場合、省電力動作時には、アウトレットから電力が供給されなくなります。

6 PC- ディスプレイ電源連動機能 (VL-195SEL/VL-195SML の場合)

本製品は添付の PS/2 ケーブルでコンピューター本体と接続することにより、PC- ディスプレイ電源連動機能を使用することができます。

PC- ディスプレイ電源連動機能とは、ディスプレイの電源ボタンを押すことで、コンピューター本体の電源をオン／オフすることができる機能です。コンピューター本体の電源ボタンの操作をディスプレイの電源ボタンで行うことができるため、コンピューター本体が離れた場所に設置されている場合などに便利です。PC- ディスプレイ電源連動機能の使用時、本製品の電源ランプは白色またはオレンジ色に点灯します（PC- ディスプレイ電源連動機能の未使用時は緑色またはオレンジ色）。コンピューター本体の電源ボタンを押したときの動作がシャットダウン^{注3}の場合、ディスプレイの電源ボタンを押すと、次の表に示す状態に移行します。なお、ケーブルの接続については『取扱説明書』をご覧ください。

重要

接続するコンピューターが2台の場合は、PC- ディスプレイ電源連動機能の動作は保証できません。PS/2 ケーブルは接続せずに保管してください。

コンピューター 本体の状態	ディスプレイの状態		ディスプレイの電源ボタン を押した場合の動作
	画面表示	電源ランプ	
電源オン (通常状態) 注1	表示あり	白	シャットダウンに移行 ^{注3}
映像出力オフ ^{注2}	表示なし	オレンジ	電源オン（通常状態）に移行
スリープ状態、 休止状態または シャットダウン	表示なし	消灯	電源オン（通常状態）に移行

注1：コンピューターの電源がオンで、画面が表示されている状態です。画面が表示されない「模様なし」のスクリーンセーバー状態を含みます。

注2：次のように、コンピューターの電源がオンで画面表示を停止した状態です。

- ・電源設定にて、「ディスプレイの電源を切る」の設定時間を経過している
- ・リモートで省電力状態から復帰（レジャーム）した状態になっている
- ・「ディスプレイの電源を切る」というソフトウェアが実行されているなど

注3：OSにより電源を切る方法は異なりますので、コンピューター本体のマニュアルもご覧ください。また、電源ボタンを押したときの動作は、コンピューター本体の設定内容（電源オプション内の「電源ボタンを押したときの動作」）に依存します。

7 トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、次の内容をお調べください。お客様からお問い合わせの多いトラブルに関する症状、原因、対処方法を記載しています。

問題が解決できない場合は、ご購入元にご確認いただくか、故障・修理に関するお問い合わせ先にご相談ください。お問い合わせ先については、『取扱説明書』をご覧ください。

画面がおかしい

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が明るすぎる	明るさの設定値が大きすぎる。	明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.18)
画面が暗くなった	「LED エコモード」が「オート」「インテリジェントオート」または「オン」になっている。	エコボタンを押して、「LED エコモード」を「オフ」に設定してください。	「エコ機能」(→ P.13)
	明るさセンサーが何かに覆われている。	明るさセンサーを覆っているものを取り除いてください。	「各部の名称と機能」(→ P.7)
	明るさの設定値が小さすぎる。	明るさを調整してください。	「明るさ」(→ P.18)
	表示解像度が本製品の推奨解像度(→ P.37)より小さい解像度(1024 × 768 など)で使用されており、エコブート機能が動作している。	エコブート機能をオフにしてください。	「エコブート」(→ P.14)
	液晶パネル内部のバックライトが、長期使用で暗くなっている。	有償にて交換させていただきます。詳しくは「故障・修理に関するお問い合わせ先」またはご購入元にご連絡ください。	『取扱説明書』
BIOS 画面が表示されない、または BIOS 画面の表示時間が短い	ロゴ表示が BIOS 画面と重なっている。	ロゴ表示を「OFF」に設定してください。	「ロゴ」(→ P.18)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面いっぱいに表示されない（アナログ信号入力時）	画面位置の調整が適切でない。	水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「水平サイズ」(→ P.18)、 「画面位置」(→ P.18)
色の階調が強調され、グラデーションがなめらかに表示されない	画質モードが「写真」に設定されている。	画質モードの設定を別のモードに変更してご使用ください。	「画質を選ぶ」(→ P.15)
画面の縦横比が崩れてしまう	コンピューター本体の設定が標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に設定してください。	「標準表示仕様」(→ P.37)、 コンピューター本体のマニュアル
	コンピューター本体の設定が 720 × 400 の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を 720 × 400 以外の解像度（モード）に変更してください。	コンピューター本体のマニュアル
格子状の表示画面がちらつく（アナログ信号入力時）	フォーカスがあってない。	フォーカスを調整してください。	「フォーカス」(→ P.18)
帯状（縦）のしま模様が見えることがある（アナログ信号入力時）	水平サイズの調整が適切でない。	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」(→ P.18)、 「フォーカス」(→ P.18)
画面がはみ出る（アナログ信号入力時）	画面位置の調整が適切でない。	自動調整を実施してください。 それでもなお画面がはみ出る場合は、水平サイズの調整を行った後に画面位置の調整を行ってください。	「AUTOセットアップアクション機能」(→ P.12)、 「水平サイズ」(→ P.18)、 「画面位置」(→ P.18)
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.37)、 コンピューター本体のマニュアル
次のメッセージが表示される「サポート外のモードです」	本製品に適切な信号が入力されていない。	コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「標準表示仕様」(→ P.37)、 コンピューター本体のマニュアル

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面が消えることがある	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。	『取扱説明書』、『複数台のコンピュータを接続する (VL-195SSL の場合)』 (→ P.35)
文字の太さが場所によって異なる	1280 × 1024 よりも低い解像度 (モード) になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大表示しているので文字の太さが異なる場合があります。最適な画面にするには「画面の設定」または「画面のプロパティ」で解像度を 1280 × 1024 に設定してください。	「標準表示仕様」 (→ P.37)、 コンピュータ本体のマニュアル
	フォーカス、水平サイズの調整が適切でない。(アナログ信号入力時)	水平サイズの調整をしてからフォーカスの調整をしてください。	「水平サイズ」 (→ P.18)、 「フォーカス」 (→ P.18)
電源投入直後や Windows の起動時または終了時に画面が点滅したり、乱れたりすることがある	コンピュータからの信号が連続的に切り替わるために起こる。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—
点灯したままの点や黒い点が表示される	液晶パネルの特性で、故障ではありません。	見えにくい壁紙に設定することをお勧めします。	コンピュータ本体のマニュアル
画面を切り換えても前の像が薄く残っている	長時間同じ静止画像を表示すると、この現象が起こることがあります。液晶パネルの特性で、故障ではありません。	コンピュータの電源を切るか、変化する画像を表示していれば、像は 1 日程度で自然に消えます。スクリーンセーバーを設定することをお勧めします。	—
表示画面にむらがある (もやもやしている)	液晶パネルの表面を押した。	本製品の電源を切り、その後電源を入れてください。	「各部の名称と機能」 (→ P.7)

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面がちらつく	一部の階調、表示パターンによってちらつきが発生します。	画質モードを変更して、ちらつきの少ない画質モードを選択してください。	「画質を選ぶ」(→ P.15)
	「LED エコモード」が「インテリジェントオート」に設定されている。	「LED エコモード」を別のモードに変更してご使用ください。	「エコ機能」(→ P.13)
2台以上のマルチディスプレイを表示したとき、画面の色調が若干異なって見える	装置の個体差によるもの。	画質モードを「sRGB」に設定、あるいはカラーを調整してください。	「画質を選ぶ」(→ P.15)、 「カラー調整」(→ P.18)

画面調整ができない

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
画面上に「ボタンがロックされています」と表示される	ボタンロックが有効になっている。	メニュー／決定ボタンを3秒以上（メニュー画面が表示されるまで）押し続け、ボタンロックを解除してください。	「ボタンロック」(→P.18)
メニュー／決定ボタンによる自動調整ができず、次のメッセージが表示される 「サポート外のモードです。 H63.9kHz V60.1Hz」注 注：数値は状況により異なります。	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	「情報表示」で現在表示されている解像度（モード）を確認し、コンピューター本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。	「情報表示」(→P.19)、「標準表示仕様」(→P.37) および コンピューター本体のマニュアル
メニュー画面の自動調整が選択できない (VL-195SSL の場合)	デジタル入力でコンピューターと接続している。	デジタル入力でコンピューターと接続されている場合は、調整が不要なため自動調整はできません。	—

音が聞こえない／変な音が聞こえる（VL-195SSL の場合）

症 状	考えられる原因	対処方法	参照ページ
スピーカーから音が聞こえない	本製品のミュートがオンになっている。	メニュー画面より、ミュートをオフにしてください。	「音量調整（VL-195SSL の場合）」（→ P.19）
	コンピューター本体の音量の設定がミュートになっている。	タスクバーの「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、ミュートの設定を解除してください。	コンピューター本体のマニュアル
	本製品のスピーカー音量またはコンピューター本体の音量設定が最小となっている。	本製品のメニュー画面が表示されていない状態で + ボタンを押してから、 - / + ボタンで音量を調整してください。 またはタスクバーの「音量」アイコンをクリックして音量つまみを表示し、音量を調整してください。	「各部の名称と機能」（→ P.7）、コンピューター本体のマニュアル
	オーディオケーブルが正しく接続されていない。	オーディオケーブルが本製品とコンピューター本体の適切な場所に接続され、しっかりと奥まで差し込まれていることを確認してください。	「複数台のコンピューターを接続する（VL-195SSL の場合）」（→ P.35）
	本製品が省電力モードになっている。	省電力時には音声出力を止める仕様となっています。	「省電力機能」（→ P.21）
スピーカーからブツブツという雑音が聞こえる	本製品の近くで携帯電話、トランシーバーなどの電波を発生する装置を使用している。	故障ではありません。携帯電話、トランシーバーを本製品から離してお使いになるか、使用をおやめください。	—
電源投入時に「ブチッ」とノイズ音がする	オーディオ回路の出力信号が不安定なため発生します。	故障ではありませんので、そのままお使いください。	—

8 日常のお手入れ

清掃する

お手入れの前に本製品の電源を切り、電源プラグをコンセント、またはコンピューター本体のアウトレットから抜いてください。

重要

▶ 化学ぞうきんや市販クリーナーは、次の成分を含んだものがあり、画面の表面コーティングやカバーを傷つける場合がありますので、使用しないでください。

- ・ アルカリ性成分を含んだもの
- ・ 界面活性剤を含んだもの
- ・ アルコール成分を含んだもの
- ・ シンナーやベンジンなどの揮発性の強いもの
- ・ 研磨材を含んだもの

▶ 清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

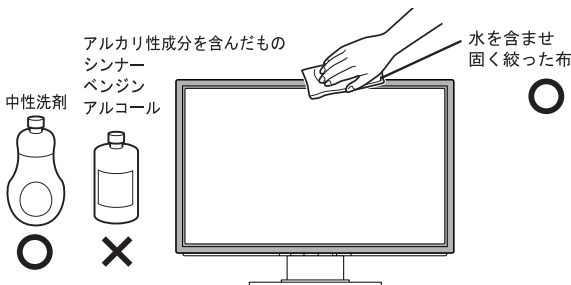
□ 画面（液晶パネル）

ガーゼなどの柔らかい布で拭いてください。



□ カバー

水または中性洗剤を含ませ、固く絞った布で拭いてください。中性洗剤を使用した場合は、水に浸して固く絞った布で、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取りのときには、本製品に水が入らないように充分注意してください。



9 リサイクル

■ 本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・ 法人、企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」
（<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>）をご覧ください。

- ・ 個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、弊社ホームページ「富士通パソコンリサイクル」（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

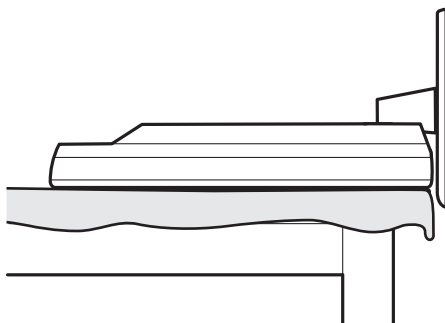
アームまたは壁掛けキットの取り付け方法

本製品はベーススタンドを取り外して、VESA FDMI 規格対応のアームまたは壁掛けキットを取り付けることができます。
ドライバーをご用意ください。

重要

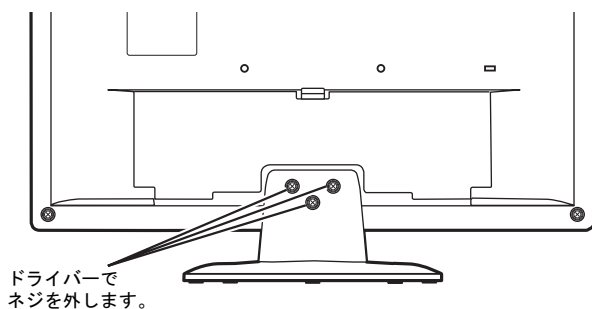
- ▶ 本製品に取り付けるアームまたは壁掛けキットは、VESA FDMI 規格に適合したものをお選びください。
- ▶ 本製品に取り付けられるアームまたは壁掛けキットは、次の条件を満たしている必要があります。
 - ・ 取り付け部分のネジ穴の間隔が 100mm × 100mm である
 - ・ M4 × 10mm のネジで、取り付けができる
 - ・ 3.4kg の重さに耐えられる
- ▶ アームまたは壁掛けキットを取り付けおよび設置するときは、アームまたは壁掛けキットのマニュアルもご覧ください。
- ▶ ネジは、VESA FDMI規格対応のアームまたは壁掛けキットに添付されているもの(M4 × 10mm)を必ず使用してください。
- ▶ ネジは最後までしっかりと締めてください。取り付け方が不十分な場合、外れて落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

- 1** すでにケーブルを接続している場合は、いったんすべてのケーブルを取り外します。
- 2** カバー／液晶パネルに傷が付かないように、柔らかい布などを敷いた安定した場所に、液晶パネル面を下に向けて置きます。



3 スタンドのネジ（3ヶ所）を取り外します。

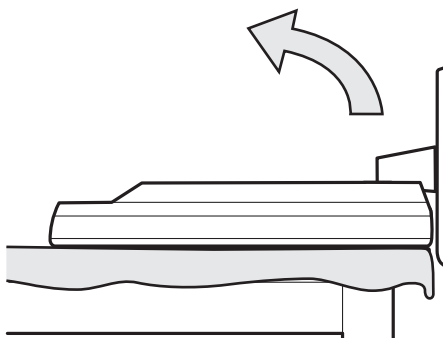
取り外したスタンドとネジは、スタンド使用時に必要ですので、大切に保管してください。



4 スタンドを取り外します。

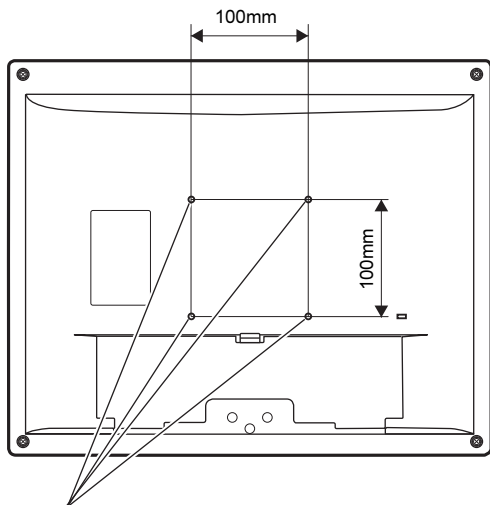
⚠ 注意

- ・ スタンドは必ず手で持って作業してください。スタンドの落下により、破損、けがのおそれがあります。



5 本製品をアームまたは壁掛けキットに取り付けます。

本製品のアーム、壁掛けキット固定用ネジ穴（4ヶ所）に、アームまたは壁掛けキットのネジ穴を合わせ、アームまたは壁掛けキットに添付されているネジ 4 本（M4 × 10mm）で取り付けてください。



アーム、壁掛けキット固定用ネジ穴

6 アームまたは壁掛けキットを設置した後、ケーブルを接続します。

『取扱説明書』または「複数台のコンピューターを接続する（VL-195SSL の場合）」（→ P.35）

POINT

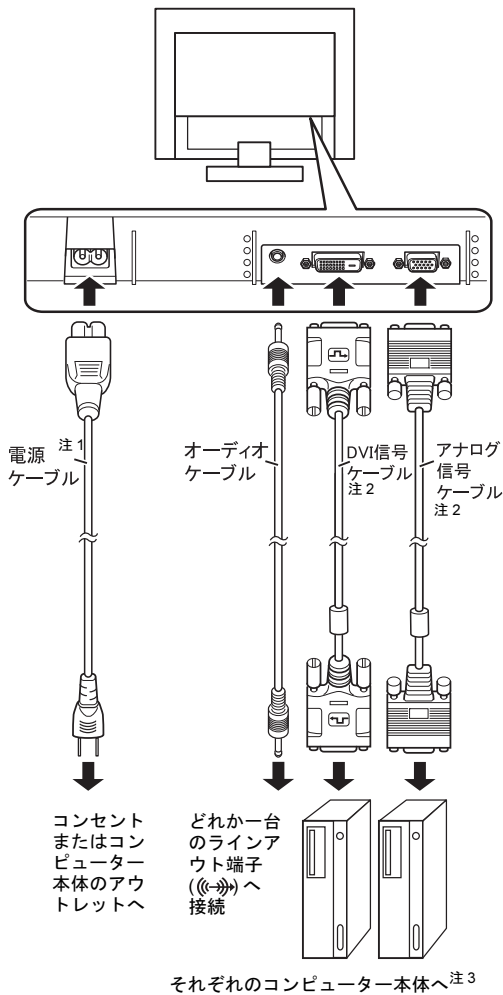
- ▶ アームまたは壁掛けキットを設置した後で、本製品背面のコネクタにケーブルを接続できない場合は、アームまたは壁掛けキットを設置する前にケーブルを接続してください。

POINT

アームまたは壁掛けキットを外してスタンドを使用する場合は、「アームまたは壁掛けキットの取り付け方法」（→ P.32）の逆の手順でスタンドを取り付けてください。

複数台のコンピューターを接続する（VL-195SSL の場合）

複数台のコンピューターを接続するときは、次のように接続してください。



注1：製品には、同梱されている電源ケーブルを使用してください。また、電源ケーブルは他の製品には使用しないでください。

注2：DVI 信号ケーブルやアナログ信号ケーブルは、コアの付いていない側のケーブル端を本製品に接続してください。

注3：DVI 信号ケーブルおよびアナログ信号ケーブルの両方を 1 台のコンピューターに接続しないでください。

11 仕様

本体仕様

項目		VL-195SEL	VL-195SML	VL-195SSL
入出力 I/F (コネクタ)	アナログ RGB コネクタ (ミニ D-Sub15 ピン)	映像信号: アナログ (セパレート同期信号 /TTL) 0.7Vp-p (正極性)、75 Ω インピーダンス		
	DVI-D コネクタ (DVI-D)	—		映像信号: デジタル (TMDS/HDCP 対応)
	オーディオ入力端子 (ϕ 3.5 ステレオミニ ジャック)	—		音声信号: アナログ
表示部	画面サイズ	19 型 (対角 48cm)		
	表示寸法	396.0mm (H) \times 324.0mm (V)		
	液晶パネル	TFT カラー液晶		
	解像度	1280 \times 1024 ドット		
	画素ピッチ	0.294mm \times 0.294mm		
	表示色	1677 万色		
	輝度	250cd/m ² (Typ.)		
	コントラスト比	1000:1		
	応答速度	5ms		
機能	視野角	上下 178°、左右 178°		
	入力対応解像度	640 \times 480、720 \times 400、800 \times 600、1024 \times 768、1280 \times 1024		
	チルト	下 0 \sim 上 20°		
電源	スリーベル	左右各 90°		
	入力	AC100V 50/60Hz (入力波形は正弦波のみサポート)		
	最大消費電力	18W/34VA		21W/39VA
	出荷時消費電力	15W (出荷輝度設定時)		17W (出荷輝度設定時)
	LED エコモード「オン」 時消費電力	11W		12W
	最小消費電力 (省電力動作時 ^{注1})	0.3W		0.3W
	電源ボタン「オフ」時 ^{注2}	0.2W		0.3W
寸法		412.5mm (W) \times 375.7mm (H) \times 190.0mm (D)		
質量		約 3.6kg (本体) 約 3.4kg (表示部のみ)		
使用条件		温度 :5 \sim 35 $^{\circ}$ C		
		湿度 :10 \sim 90% (結露しないこと)		

注1: コンピューター本体で設定した自動的にディスプレイの電源を切る時間が経過して、スピーカーを使用せず、明るさを特に調整しない状態での使用を想定しています。電源ランプがオレンジ色の状態です。

注2: 電源ボタン「オフ」時の電力消費は、電源ケーブルをコンセントまたはコンピューター本体のアウトレットから抜くことで0にすることができます。

標準表示仕様

本製品には、ご購入時に下表の解像度（モード）の調整値が登録されています（走査方式がインターレースの信号は対応していません）。

◎：推奨解像度（モード） ○：表示可能

No.	解像度（モード）	水平周波数	垂直周波数	表示可能解像度（モード）	
				アナログ （共通）	デジタル （VL-195SSL）
1	640 × 480	31.5kHz	60Hz	○	○
2	640 × 480	37.5kHz	75Hz	○	—
3	640 × 480	37.9kHz	72Hz	○	—
4	720 × 400	31.5kHz	70Hz	○	○
5	800 × 600	37.9kHz	60Hz	○	○
6	800 × 600	46.9kHz	75Hz	○	—
7	800 × 600	48.1kHz	72Hz	○	—
8	1024 × 768	48.4kHz	60Hz	○	○
9	1024 × 768	56.5kHz	70Hz	○	—
10	1024 × 768	60.0kHz	75Hz	○	—
11	1280 × 1024	64.0kHz	60Hz	◎	◎
12	1280 × 1024	80.0kHz	75Hz	○	—

重要

- ▶ 接続するコンピューターの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、メニュー画面より自動調整を行ってください。自動調整で調整しきれない場合は、メニュー画面の「画面位置」（→ P.18）、「水平サイズ」（→ P.18）または「フォーカス」（→ P.18）で調整してください。コンピューター側での微調整は行わないでください。
- ▶ 上表以外の解像度（モード）にコンピューターを設定すると、正常に表示されなくなる場合があります。
- ▶ 1280 × 1024 以外の解像度（モード）では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったり、縦横比が異なって画像などにゆがみが発生することがあります。これは、擬似的に拡大表示（全画面表示）しているためであり、故障ではありません。
- ▶ 上表の解像度（モード）であっても、スキャンコンバーターで表示された NTSC 信号については表示品位を保証するものではありません。

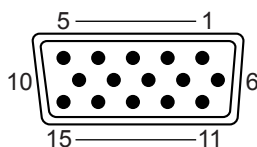
コネクタ仕様

■ アナログ（ミニ D-Sub15 ピン・コネクタ）

端子配列表

No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	R（映像）	(6)	GND	(11)	GND
(2)	G（映像）	(7)	GND	(12)	DDC DATA
(3)	B（映像）	(8)	GND	(13)	水平同期
(4)	GND	(9)	DDC+5V	(14)	垂直同期
(5)	GND	(10)	GND	(15)	DDC CLOCK

端子配列図



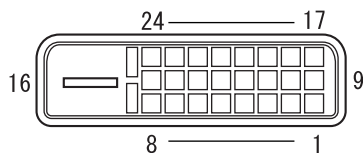
■ デジタル（DVI-D コネクタ）（VL-195SSL の場合）

端子配列表

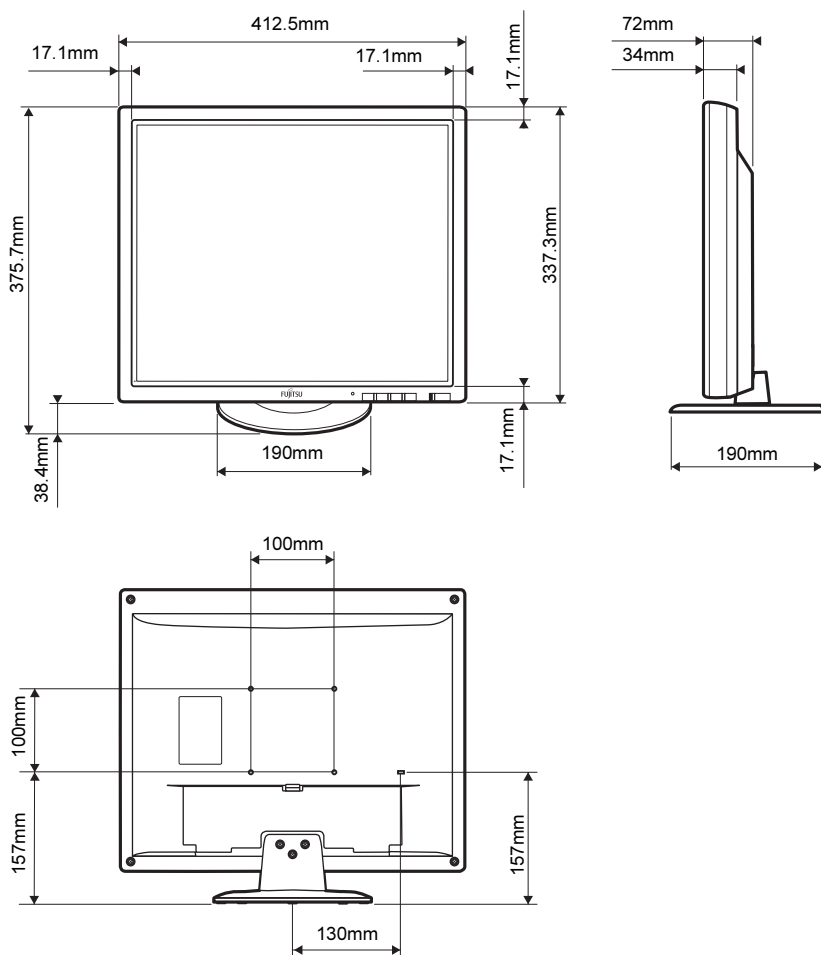
No.	信号	No.	信号	No.	信号
(1)	TX2-	(9)	TX1-	(17)	TX0-
(2)	TX2+	(10)	TX1+	(18)	TX0+
(3)	TX2 Shield	(11)	TX1 Shield	(19)	TX0 Shield
(4)	NC 注	(12)	NC 注	(20)	NC 注
(5)	NC 注	(13)	NC 注	(21)	NC 注
(6)	DDC/SCL	(14)	DDC +5V	(22)	TXC Shield
(7)	DDC/SDA	(15)	DDC GND	(23)	TXC+
(8)	NC 注	(16)	HPD	(24)	TXC-

注 NC: 未接続

端子配列図



外形図



液晶ディスプレイ -19 (VL-195SEL/VL-195SSL)
電子カルテ用液晶ディスプレイ -19 (VL-195SML)
補足情報

B6FY-2121-01 Z0-00

発行日 2013 年 10 月
発行責任 富士通株式会社

〒 105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。